

平成29年11月24日  
法務省人権擁護局

### 第37回全国中学生人権作文コンテスト中央大会の表彰等について

<u>主 催</u>	法務省，全国人権擁護委員連合会
<u>後 援</u>	文部科学省，一般社団法人日本新聞協会，日本放送協会，公益財団法人日本サッカー協会
<u>協賛・協力</u>	公益財団法人人権教育啓発推進センター，公益財団法人人権擁護協力会，公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
<u>応募者数</u>	今回の大会には，7,358校の学校から，960,390名の応募があった。 ※資料1参照
<u>応募作品</u>	「子どもに関する問題」に関する作文が応募総数全体の37.7%（362,267編），中でも「いじめ」に関する作文が28.5%（274,085編）と最も多くなっている。 次いで，「戦争・平和」に関する作文が12.2%（116,817編），「障害のある人に関する問題」に関する作文が10.4%（99,516編），「差別問題一般」に関する作文が7.1%（68,240編），「高齢者問題」に関する作文が5.1%（49,025編）となっており，これらの作文で応募総数全体の7割以上を占めている。 ※資料2参照
<u>審査経緯</u>	各都道府県単位（北海道については，札幌法務局及び函館，旭川，釧路の各地方方法務局単位）で地方大会を実施し，優秀作品102編が中央大会へ推薦された。
<u>中央大会審査員</u>	作 家（審査員長） 映画監督 一般社団法人日本新聞協会専務理事・事務局長 日本放送協会解説委員室 解説委員 文部科学省初等中等教育局視学官 全国人権擁護委員連合会会長 法務省人権擁護局長
	落 合 恵 子 山 田 洋 次 西 野 文 章 清 永 聡 大 滝 一 登 内 田 博 文 名 執 雅 子

<u>表 彰</u>	内閣総理大臣賞	( 1 編)
	法務大臣賞	( 1 編)
	文部科学大臣賞	( 1 編)
	法務副大臣賞	( 1 編)
	法務大臣政務官賞	( 1 編)
	全国人権擁護委員連合会会長賞	( 1 編)
	一般社団法人日本新聞協会会長賞	( 1 編)
	日本放送協会会長賞	( 1 編)
	法務事務次官賞	( 3 編)
	法務省人権擁護局長賞	( 2 5 編)
	奨励賞	( 6 6 編)
	※各賞受賞者には、賞状及び記念品を贈呈	

審査結果 資料3のとおり

発表 平成29年11月24日(金)

表彰日 平成29年12月4日(月)  
受賞者の居住する都道府県の法務局・地方法務局を通じて伝達する予定

その他 法務事務次官賞以上の入賞作品(11編)については、「第37回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集」として取りまとめ、平成30年2月頃に刊行の予定